IXC

CDN・海外アクセラレーション導入検討の手引き

性能の基準線、実証試験、切り替え費用で判断するCDN選定キット

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

海外アクセスの遅延の原因を切り分け、実際のコンテンツでCDNの導入効果と運用への適合性を検証します。

海外サービス責任者・インフラ担当・CDN購買の検討者

目次

01 遅い業務を計測できる質問に置き換えます 3

02 機能一覧ではなく代表的なコンテンツで試験します 4

03 CDN導入判断ワークシート 5

04 切り替えと日常の運用を併せて設計します 6

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

遅い業務を計測できる質問に置き換えます

「海外で遅い」という症状から出発し、どの地域のどの業務が遅いのかを絞り込みます。CDNの選定とは、この基準線が改善するかを確かめる作業です。

主な利用地域と主要画面を決めたうえで、最初の応答までの時間、主要コンテンツの表示時間、エラーをそれぞれ記録します。キャッシュが空の状態での初回要求と再要求は分けて見ます。ログインの前後と、端末・回線の条件も区別します。オリジンでの応答生成に時間がかかっているなら、アプリケーションとデータベースも併せて調べてはじめて、転送の改善で得られる分を切り分けられます。

観測結果	追加の確認	検討の方向
最初の応答が遅い	オリジンの処理・接続時間	オリジンと転送経路の切り分け
画像・動画が遅い	サイズ・反復要求・地域差	キャッシュ・配信ポリシーの検討
ログイン後だけが遅い	認証・パーソナライズ・API呼び出し	機密性の高い応答の除外・アプリ調査
特定地域でエラーが増加	回線・DNS・証明書・オリジン	地域ごとに同一条件で試験

計測記録の最小単位

時刻、地域、URL、ログイン状態、端末・回線の条件、キャッシュの状態と結果を一組にして保存します。比較の際に変わった条件が多いと、どの措置が効果を上げたのかを説明しにくくなります。

機能一覧ではなく代表的なコンテンツで試験します

実際のサービスから、更新周期と機密性の異なるコンテンツを選びます。速度と併せて、正しい内容が届くかも確認します。

試験対象	検証する質問	必要な結果
バージョン付きの静的ファイル	反復要求でオリジン負荷が減りますか？	キャッシュ適中・オリジンへの要求
差替える商品画像	更新後に新しい画像が表示されますか？	無効化・再要求の記録
パーソナライズ型ページ	他のユーザーの内容が混ざりますか？	ユーザーの分離・キャッシュポリシー
API・エラー応答	ステータスとヘッダーは保たれますか？	応答コード・エラー処理
オリジン障害時	承認済みの代替応答が返りますか？	迂回動作・復旧の記録

Akamai Property Managerでは、コンテンツの条件に応じてキャッシュの動作と保持時間を設定します。キャッシュキーには、要求を同じ応答として扱う基準が入ります。ファイル名が同じでも言語・権限・価格の条件が異なるなら、どの値が応答を変えるのかを先に分析します。利用者ごとの情報が混ざらないよう、キャッシュ除外の条件と区分の基準を試験計画に書き込みます。

> **実証試験の合格条件**
>
> 導入前に計測した業務を、同じ条件で再度実行します。速度が改善しても、誤ったコンテンツが返ったり、デプロイ後の更新に失敗したりした場合は、ポリシーを補ってから再試験します。

CDN導入判断ワークシート

計測結果、費用の項目、運用権限を一枚につなげます。効果が見込める業務と、別途改善が必要な業務を分けて導入範囲を決めます。

CDN実証・購買検討表

判断する質問	確認の証拠	自社の結果	追加措置・担当
主要地域の業務は改善しますか？	同じ条件での前後の計測		
更新・パーソナライズは正確ですか？	コンテンツ・ユーザー別の試験		
オリジンへの要求は減りましたか？	要求・転送量の前後比較		
総費用に運用は含まれていますか？	転送・要求・オプション・作業の見積もり		
変更・復旧の権限は決まっていますか？	アクセス・承認の経路とサポート経路		

費用は、CDNの利用料と残るオリジン側の費用を併せて計算します。要求数と転送量、地域構成、付加機能、初期の切り替えと運用作業をそれぞれ確認します。オリジンのトラフィックが減っても、コミットや基本費用はすぐには減らない場合があります。見込みの削減額を稟議に載せるときは、実際の請求構造の中で減らせる項目を区別します。

> **記入例**
>
> 海外からの商品画像の反復要求は改善しましたが、ログインAPIには変化がありません。画像の経路から適用し、APIはオリジン性能の課題として割り当てます。適用範囲を分ければ、効果と追加費用をそれぞれ判断できます。

切り替えと日常の運用を併せて設計します

切り替えはDNSの変更だけでは終わりません。証明書、設定バージョン、オリジンへのアクセス、デプロイ時の無効化と障害連絡まで、運用手順に含めます。

- ドメイン・証明書・オリジンホストの設定を検証し、変更の承認者と作業枠を決めます。
- Akamaiのstagingネットワークで設定を試験してから、productionでの有効化を準備します。適用バージョンと検証結果を紐づけます。
- 切り替え直後に、主要地域の応答・エラー・オリジンへの要求を確認します。戻す基準と担当者は変更前に決めます。
- 緊急の無効化、証明書の更新、オリジンの変更、誤検知の調整を誰が行うかを運用表に残します。

購買経路は、設定変更を誰が行い、サポートの依頼がどこへ届くかで比較します。管理アカウントの所有者と供給元の権限、設定のエクスポートと終了時の引き継ぎも確認します。設定を素早く変える必要があるサービスでは、単なる利用料のほかに、運用担当の役割と連絡経路が重要な選定基準になります。

> **IXCと検討する範囲**
>
> IXCは、Akamaiを活用したコンテンツ別のキャッシュ・配信ポリシー、オリジン負荷の軽減と障害時の迂回、地域別の性能・適中率の観測を提供します。代表URLと地域別の計測値をもとに、適用範囲と運用手順を決めます。

IXC

発行・ご利用について

主な利用地域と遅いURL、オリジンへの要求・転送量をもとに、CDNの適用と実証試験の範囲を決めます。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/services/cdn

www.ixc.co.kr/ja/assets/cdn-selection-guide

参考資料

Akamai: Learn about caching

https://techdocs.akamai.com/property-mgr/docs/know-caching

Akamai: How activation works

https://techdocs.akamai.com/property-mgr/docs/how-activation-works

IXC CDN・海外高速化

https://www.ixc.co.kr/ja/services/cdn